

① グローバリゼーション

資産運用会社ブラックロックのラリー・フィンク最高経営責任者(CEO)は株主宛ての手紙で、ロシアのウクライナ侵攻が「グローバリゼーションに終止符を打った」と記した。

グローバリゼーションとは、全世界からあらゆるものを(安く・大量に・簡単に)取り寄せることができる状態でしたが、今後は残念ながらグローバリゼーション ⇒ **ブロック経済** に世界は向かおうとしていると思います。インフレの時代が始まり、長く続くことが予想されます。

② ドイツ

ドイツのガス調達のロシア依存の割合は、調達先の切り替えなどでウクライナ侵攻前の55%から40%にまで下がっているという。

今後も調達の多様化や再生エネルギーの拡大などが進めば、24年夏にはロシアからの輸入割合を1割程度にまで下げられるというのがドイツ政府の見立てだ。

石油についてもロシアからの輸入を夏までに半減し、年末にはほとんど依存していない状況を目指す。石炭は秋までにロシア依存から抜け出せそうだという。

ロシアからの調達の割合を強引に引き下げようとするれば**資源の奪い合い**が生じて、インフレに拍車がかかる恐れもある。

③ 米利上げ

ニューヨーク連銀のウィリアムズ総裁は25日、今後の米連邦公開市場委員会(FOMC)での利上げ幅について「0.5%の引き上げが適切であれば、そうすべきだ」と語った。

経済データを見極めつつ、必要なら大幅利上げも辞さない考えを示した。

同日の米債券市場では米連邦準備理事会(FRB)の急速な引き締め観測が強まり、長期金利が一時2.5%台まで上昇(債券価格は下落)した。

④ 豪&独 10年国債利回り

豪 10年国債利回りが 2.871%まで上昇してきました。

短期間での大幅な上昇です。

ドイツ 10年国債利回りも 0.591%に。

2年前の -0.9% ⇒ 0.591%

歴史的な大底を付けた後、反転大幅上昇するのはいつものパターンです。

我が国の 10年国債利回りは、果たして今週 0.25%を突破するのでしょうか？

年度末に大きな節目を迎えます。

【豪 10年国債利回り: 10年】



【ドイツ 10年国債利回り: 10年】

